

平成25年12月能代市議会定例会

市長説明要旨

平成25年12月能代市議会定例会の開会に当たり、提出議案の説明に先立ち、その後の市政及び諸般の動きなど、その大要をご報告いたします。

はじめに、公金の適正管理と再発防止策についてであります。全職員に現金取扱事務のチェック体制の強化を指示するとともに、さらに、11月19日、再発を防止するための具体的方策を検討し、市民の信頼回復につなげていくため、能代市不明金発覚に係る再発防止検討委員会を設置いたしました。

次に、旧料亭金勇についてであります。秋田デスティネーションキャンペーンに合わせて本年10月1日から建物の公開を開始し、11月までの2か月間、市民の皆様のご協力を得て様々なイベントや作品展示会等を開催してまいりました。この間、多くの方にご来館いただき、県内外に旧料亭金勇をアピールすることができたものと考えております。予定通り11月末には外構工事を終え、本日から部屋の貸出しも開始しております。

また、旧料亭金勇のオープン記念行事として、囲碁七大タイトル戦の一つである本因坊戦の来年度の招致に向け、現在、関係機関等に働きかけをしております。開催が実現すれば、旧料亭金勇をとおして、本市を全国にアピールする好機になるとともに、囲碁愛好者や市民の皆様が囲碁の最高峰に触れる機会になるものと期待しております。

庁舎整備事業についてであります。現在、設計者と協議を重ねながら基本設計の策定作業を進めており、今後、さらに、具体的な建物平面・立面計画及び部署配置等の検討のほか、地質調査結果を踏まえた建物構造、導入設備等に関する精査等が必要であり、そのうえで概算事業費の算定を行うこととなります。

基本設計の素案及び概算事業費をお示しできる時期については、本定例会の庁舎整備特別委員会を予定しておりましたが、作業の進捗状況を踏まえれば、概ね2月頃になるものと考えております。その段階で議会にご説明するとともに、庁舎整備市民懇話会やパブリックコメント及び市民説明会で市民の皆様のご意見等を伺い、今年度中に基本設計をまとめたいと考えております。

次に、新型インフルエンザ等対策行動計画についてであります。新型インフルエンザ等対策特別措置法により、国・県の行動計画に基づき、対策の基本方針や実施体制等を盛り込んだ、能代市新型インフルエンザ等対策行動計画を策定することとなっております。現在、計画に盛り込むべき内容を検討しており、今後、関係機関のご意見をいただくとともにパブリックコメントを実施し、計画を策定してまい

ります。

次に、（仮称）イオン新能代ショッピングセンターについてであります。イオングループのディベロッパー部門の責任者から、市に対して、現在の状況について報告がありました。その内容であります。「引き続き関係機関との協議を進めるとともに、地権者への説明会を開催している。準備が整った段階で具体的な計画を公表したい。」とのことであります。

大型七夕についてであります。市では、これまで大型七夕の製作・運行等の財源として、秋田県市町村未来づくり交付金を活用するため、県と協議を進めてまいりましたが、県側から12月県議会に能代市のプロジェクトを提案することはできない旨の連絡があり、今年度の交付金の活用については、断念せざるを得なくなりました。

大型七夕は、観光振興の目玉として、大きな集客と経済効果を見込めるものであると考えておりますので、市といたしましては、過疎地域自立促進特別事業債を活用して、23メートルの大型七夕「天空の不夜城」を製作し、さらに通年観光も視野に入れた観光拠点施設の整備を検討してまいりたいと考えております。

能代産業廃棄物処理センターについてであります。県が10月9日から15日に処分場内の土壌ガス調査を実施した結果、71地点中6地点でベンゼン等の揮発性有機化合物を含んだガスが検出されております。これを受け、環境対策協議会において、廃棄物の埋立て状況を確認するためのボーリング調査の手続を開始していることが報告されました。

このボーリング調査は、来月末までに終了することとなり、市といたしましては、調査結果を十分精査し、一刻も早い処分場の浄化を目指した環境保全対策を進めていただくよう、要望してまいりたいと考えております。

米政策についてであります。政府は、去る11月26日、第9回「農林水産業・地域の活力創造本部」の会合を開き、米の生産調整廃止の方針と、経営所得安定対策に係る補助金等の見直しを決定しております。

市といたしましては、国に対して、真に農業者の経営安定に資する制度とすること、小規模農家に対しても十分配慮すること、中山間地域等の条件不利地域の特性や実情を反映した制度とすること等について、全国市長会や秋田県市長会と連携を図りながら、強く要請してまいりたいと考えております。

なお、国の政策転換に関わらず、これまで行ってきた本市農業の特長を活かす施

策を充実させていくため、JAや関係機関と今後の対策を検討してまいりたいと考えております。

次に、住宅リフォーム緊急支援事業についてであります。平成22年度から実施しております本事業は、補助対象工事費が毎年10億円を超え、地域経済への波及効果や需要が依然高いことから、26年度においても引き続き事業を実施してまいりたいと考えております。

次に、二ツ井テニスコートの移設についてであります。「道の駅ふたつい」にあるテニスコートは、一般国道7号二ツ井今泉道路改築事業の用地として、平成27年9月までの撤去が求められております。このため、利用できない期間ができるだけ生じないように、議会や関係スポーツ団体、地域住民の皆様のご意見も伺いながら、旧二ツ井小学校グラウンドに移設したいと考えております。

次に、単行議案の主なものをご説明いたします。

能代市空き家等の適正管理に関する条例の制定については、空き家等の適正な管理に関し、必要な事項を定めようとするものであります。

能代市保育所条例の一部改正については高丘子ども園を、能代市へき地保育所条例の一部改正については河戸川保育所を、それぞれ廃止しようとするものであります。

損害賠償の額を定め和解することについては、公用車の交通事故に関し、損害賠償の額を定め、和解しようとするものであります。

能代市社会教育委員の定数等に関する条例の一部改正については、地域主権改革による社会教育法の一部改正に伴い、社会教育委員の委嘱の基準を定めようとするものであります。

能代市簡易水道給水条例の一部改正については、能代市二ツ井・荷上場地区簡易水道事業の水道料金及び手数料等を定めようとするものであります。

このほか、能代市旧料亭金勇、白濤亭、能代市中央公民館外3施設及び能代工業団地交流会館の指定管理者の指定について、能代市簡易水道基金条例の一部改正について、並びに能代市簡易水道事業特別会計への繰入額の変更について提案しております。

次に、平成25年度能代市一般会計補正予算案の概要をご説明いたします。

この度の補正予算は、これまでに国・県から内示等を受けた事業について所要額を計上したほか、市単独事業については、当面緊急を要するものについて補正して

おります。

まず、歳入の主なものとしては、障害者総合支援給付費等負担金、重点品目産地づくり支援交付金及び財政調整基金繰入金の追加、児童手当国庫負担金精算過年度収入及び過疎地域自立促進特別事業債の計上等であります。

次に、歳出の主なものについてご説明いたします。

議会費においては、議員報酬等人件費598万5千円の減額等を計上しております。

総務費においては、過年度国庫負担金等返還金1,018万2千円、二ツ井町庁舎管理費117万6千円等を計上しております。

民生費においては、福祉灯油事業費2,555万2千円、障害福祉サービス等給付費1,955万5千円、障害児通所給付費等事業費252万9千円、車両管理費116万9千円等を計上しております。

衛生費においては、簡易水道事業特別会計繰出金964万4千円等を計上しております。

農林水産業費においては、重点品目産地づくり支援交付金事業費458万1千円等を計上しております。

商工費においては、大型七夕推進事業費4,900万円、滞在型観光推進事業費150万円、大館能代空港利用促進事業費100万円等を計上しております。

土木費においては、除排雪対策費1億3,502万円、街灯費538万8千円、交通安全施設費144万1千円等を計上しております。

消防費においては、上水道消火栓更新事業費174万4千円等を計上しております。

教育費においては、小学校管理費619万2千円、中学校管理費408万5千円、学校給食管理費232万9千円、文化会館管理運営費141万5千円、公民館管理運営費140万9千円、体育施設管理運営費130万2千円、二ツ井テニスコート整備事業費127万5千円等を計上しております。

また、職員人件費1億4,668万1千円の減額を関係費目に計上しております。

以上、一般会計補正予算案の概要を申し上げましたが、補正額は1億3,960万円となり、これを既定予算に加えますと一般会計の総額は257億4,423万4千円となります。

このほか、平成25年度各特別会計補正予算案及び各企業会計補正予算案につきましては、提案の際、詳細にご説明いたしますので省略させていただきます。

なお、人権擁護委員の候補者の推薦については、後日追加提案させていただく予定であります。

以上、よろしくご審議のうえ、適切にご決定を賜りますようお願い申し上げます。